

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長 阿部孝夫 様

郵便番号 210-0867  
 住 所 川崎市川崎区扇町6-12  
 氏 名 エヌエス・ユシロ株式会社 印  
 代表取締役 坂口 純則  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	エヌエス・ユシロ株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区扇町6-12		
該当する事業者 の要	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	R	サービス業(他に分類されないもの)
	中分類	88	産業廃棄物処理業
主たる事業 の内容	産業廃棄物の焼却処理		
事業者の規模	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input checked="" type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		27,189 t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	事業本部
		所在地	川崎市川崎区扇町6-12
	電話番号		044-366-5681
	FAX番号		044-366-5981
	メールアドレス		<a href="mailto:info@ns-yushiro.co.jp">info@ns-yushiro.co.jp</a>
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成22年度 ~ 平成24年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号及び第3号の通り
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号及び第3号の通り
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号及び第3号の通り
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	焼却炉の保全に努めエネルギー効率の向上と共に高効率照明への順次更新を中心として排出量の抑制を図る。 ・必要な耐火材補修の実施 ・ボイラー水管清掃の徹底 ・高効率照明への順次更新など 詳細は指針様式第1号(第4, 5面)の通り
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	廃熱を利用した自家発電量の増大を図り、外部に供給する。 詳細は指針様式第1号(第6面)の通り
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	・グリーン購入の推進 ・川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)への参加 詳細は指針様式第1号(第6面)の通り
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

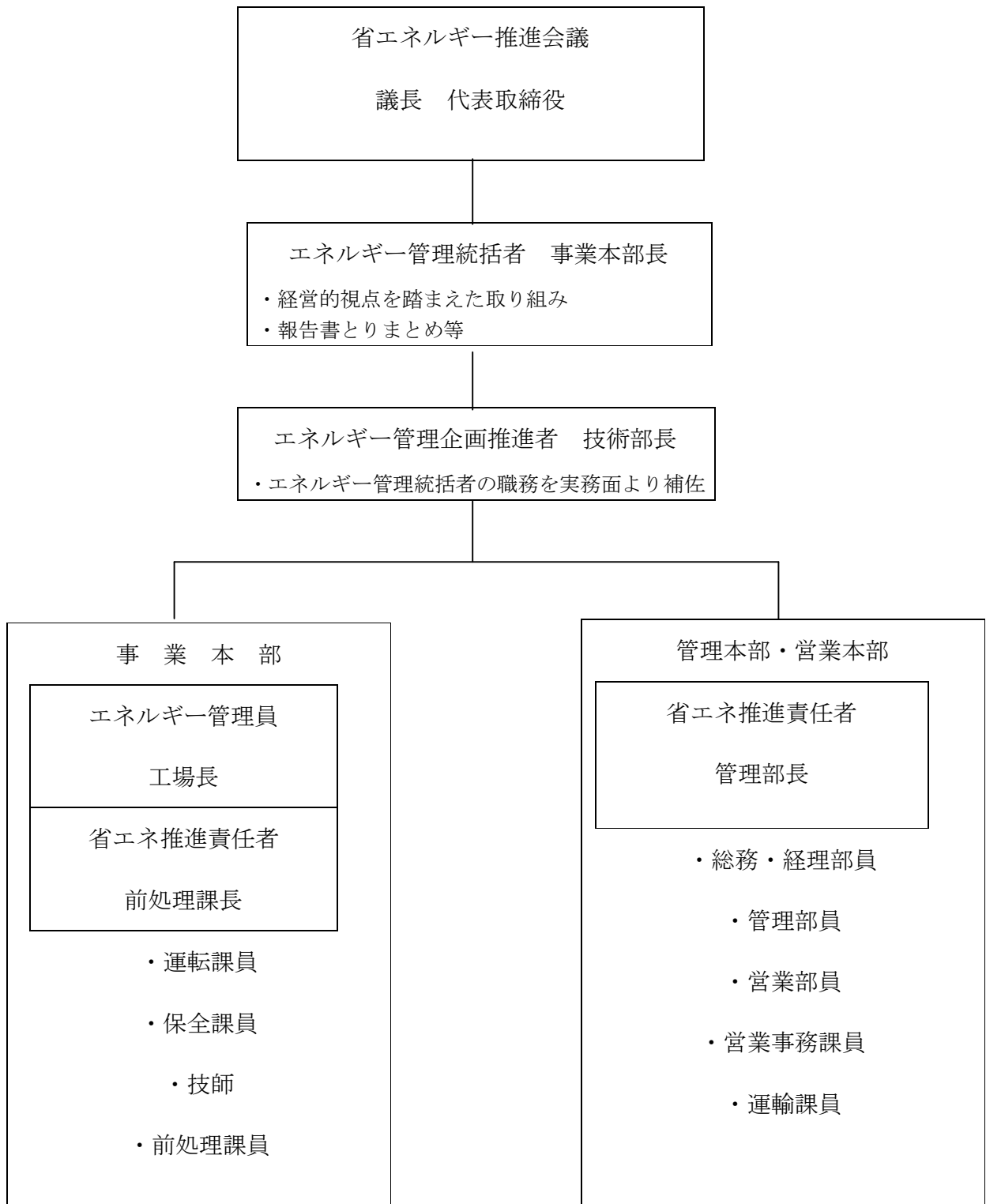
### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

- (1) 地球温暖化対策に関する取り組みを組織的に行い、継続的に対策を推進する。
- (2) 目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む
- (3) 廃棄物処理過程における省エネルギーに努める。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

別紙

# 温暖化対策管理体制図



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成21年度	目標年度	平成24年度
基準排出量	(実) 27,189 t-CO <sub>2</sub> (調) 22,003	目標排出量	(実) 26,373 t-CO <sub>2</sub> (調)
削減率	(実) 3.0 % (調)	削減量	(実) 816 t-CO <sub>2</sub> (調)

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	廃棄物焼却量	単 位	トン
基準年度の値	0.4753	目標年度の値	0.4610
削減率	3.0 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	廃棄物処理を業としており廃棄物焼却量が最も適切と判断した。		

ウ 目標設定に関する考え方

<p>C02排出原単位の中で、非エネルギー起源C02排出量原単位を3年間の平均で年1%削減することを目標に設定した。</p> <p>これは①高カロリー廃棄物の増加 ②焼却炉耐火材の補修を適切に行い、エネルギー効率の向上等により達成可能と考えている。</p>
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

同 上
-----

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第1号、第2号、第4号該当者等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推進体制の整備 エネルギー管理体制を整備し、毎月エネルギー使用量、活動状況を報告し組織全体の省エネルギー向上を図る。</li> <li>・ 主要設備等の保全管理 焼却炉の保全に努めまたメンテナンス時には必要な耐火材補修を行いエネルギー効率の向上を図る。</li> <li>・ 廃熱回収設備の保全管理 メンテナンス時にボイラー水管清掃を実施し、発電量の向上を目指す。</li> <li>・ 事務所等の空気調和の管理 空調設備の設定温度を遵守する。</li> <li>・ 照明設備の運用管理 照明設備更新時には順次高効率照明を採用する。</li> </ul>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第3号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

太陽光、風力発電等再生可能エネルギー源は、敷地、採算性の観点から設置、利用が難しく、予定はない。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

廃熱利用の発電が可能になった。

6 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

廃熱を利用した自家発電量の増大を図り、外部に供給することで貢献したい。

- ・平成22年度～平成24年度の合計目標

$3,600,000\text{Kwh} \times 0.000418 = 1,504\text{t-CO}_2$  の削減に貢献する。

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- ・グリーン購入の推進
- ・川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）への参加



8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	27,189	t-CO <sub>2</sub>
(調)	22,003	

イ 第3号該当者等

		t-CO <sub>2</sub>
--	--	-------------------

(2) 事業所等单位 (第1号、第2号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事業の名称	温室効果ガスの排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事業の名称	温室効果ガスの排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位 (第4号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事業の名称	温室効果ガスの排出の量
エヌエス・ユシロ (株)	川崎市川崎区扇町6-12	8822	産業廃棄物処理業	27,189 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	0
------	---